

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 031	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 哺乳子牛に与える固形飼料の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 哺乳子牛の第一胃を早期に発達させ、早期離乳と、その後の発育を促進するために、哺乳中から人工乳や乾草などの固形飼料を与えている。 最近では、乾草ではなく人工乳や育成配合飼料を与えることが第一胃の絨毛の発達につながるとされており、実践している酪農家も増えている。一方、乾草を与えないことで哺乳牛におけるルーメンアシドーシスのリスクが指摘されている。 そこで、従来の方法に比べ遜色・遅滞なく第一胃が発達し、かつルーメンアシドーシスを起こさず子牛の健全性を高める固形飼料の種類や、給与時期・方法について検討願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 子牛の健全性を高める哺育管理技術の開発		
対応の内容等	要望の課題については、畜産草地研究所及び信州大学、6県（千葉県、埼玉県、山梨県、岐阜県、富山県、石川県）及び民間企業との共同試験により、子牛の健全性を高める固形飼料、給与時期・方法について検討していく予定です。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			